

石川県能登半島地震における DMAT の派遣について

当院では、令和6年1月1日に石川県能登地方で最大震度7を観測した地震に伴う DMAT の派遣要請により、1月6日～9日の4日間、被災地の医療支援のため、DMAT を派遣しました。 医師1名、看護師2名、薬剤師1名、臨床工学技士1名の計5名で、公立宇出津総合病院（石川県鳳珠郡能登町）を拠点に支援活動にあたりました。



災害対策本部



支援先への移動



倒壊家屋



登米市民病院 DMAT 隊員

～一人でも多くの命を救うために～

災害派遣医療チーム Disaster Medical Assistance Team の頭文字をとって略して「DMAT（ディーマット）」と呼ばれています。

医師、看護師、業務調整員（医師・看護師以外の医療職及び事務職員）で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期（おおむね48時間以内）から活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームです。

当院は災害拠点病院に指定されています。災害拠点病院は、地域の災害医療の中核病院で、災害時には被災患者の受入れ・治療、医療スタッフの派遣などを行います。また、DMAT を結成し、災害時における派遣をしています。